平成 25 年４月 26 日

各　位

株式会社ミマキエンジニアリング
代 表 取 締 役 社 長　　小 林 久 之
（ＪＡＳＤＡＱ　コード番号：６６３８）
問い合わせ先　ＩＲ部長　小林　修
電話：０２６８－６４－２２８１（代表）

営業外費用及び特別損失の計上、連結業績予想の修正並びに個別業績見込と前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年３月期において、下記のとおり営業外費用及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 25 年２月８日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正するとともに、個別の業績見込につきましても、前期実績値との差異が生じる見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

１．営業外費用の計上について

（１）為替差損

（連結）

平成 25 年３月期第３四半期連結累計期間（平成 24 年４月１日～平成 24 年 12 月 31 日）において、為替差損 230 百万円を計上いたしましたが、その後の為替相場の変動により、平成 25 年３月期連結累計期間末までに、302 百万円の為替差損が発生したため、平成 25 年３月期連結累計期間（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）において、為替差損 533 百万円を営業外費用に計上いたします。これは主に、第４四半期連結会計期間（平成 25 年１月１日～平成 25 年３月 31 日）において、為替相場が円安に進行したことに伴い、外貨建予定取引に係る為替予約レートと実勢レートとの差異により計上したものであります。

（個別）

平成 25 年３月期累計期間（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）において、為替差損 269 百万円を営業外費用に計上いたします。これは主に、期中において為替相場が円安に進行したことに伴い、外貨建予定取引に係る為替予約レートと実勢レートとの差異により計上したものであります。

（２）持分法による投資損失

（連結）

平成 25 年３月期第１四半期連結累計期間（平成 24 年４月１日～平成 24 年６月 30 日）において、インドの販売子会社に対する持分法による投資損失 119 百万円を計上いたしましたが、その後、平成 25 年３月期連結累計期間末までに、99 百万円を計上したため、平成 25 年３月期連結累計期間（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）において、持分法による投資損失 219 百万円を営業外費用に計上いたします。これは、インドの販売子会社の業績不振に伴い計上したものであります。

２．特別損失の計上について

（１）関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額

（個別）

平成 25 年３月期累計期間末において、関係会社株式評価損 259 百万円、貸倒引当金繰入額 169 百万円をそれぞれ特別損失に計上いたします。これらは、インドの販売子会社の業績不振に伴い計上したものであります。

３．平成 25 年３月期通期（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）連結業績予想数値の修正

（１）平成 25 年３月期 通期連結の業績予想数値の修正

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	32,000	950	400	330	24.73 円
今回修正予想（Ｂ）	31,090	937	80	133	9.97 円
増減額（Ｂ－Ａ）	△910	△13	△320	△197	－
増 減 率	△2.8％	△1.4％	△80.0％	△59.7％	－
（ご参考）前期実績（平成 24 年３月期）	26,876	419	274	214	16.08 円

（２）修正の理由

売上高は、主にアジア・パシフィック地域やインド、中国などの新興国において、総じて高価格帯プリンタの販売台数が想定を下回ったことに加え、SG 市場向け新製品プリンタに使用する新開発インクの発売遅延などの影響で、北米など一部の先進国でのプリンタ販売が減少したこと等により、前回予想を下回る見込みとなりました。一方、営業利益は、販売台数の減少に伴う物流費等販売費の減少及び一般管理費の節減に努めた結果、前回予想を若干下回る見込みとなりました。しかしながら、経常利益におきましては、前回の想定を上回る、為替差損の発生及びインドの販売子会社に対する持分法投資損失の発生による営業外費用の増加により、前回予想を下回る見込みとなりました。なお、当期純利益は、繰越欠損を有している連結子会社の損益改善が進みましたが、経常利益の減少により前回予想を下回る見込みとなりました。

４．平成 25 年３月期通期（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）個別業績見込と前期実績値との差異

（１）平成 25 年３月期 通期個別業績見込と前期実績値との差異

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前期実績（Ａ）	23,147	216	323	186	13.99 円
個別業績見込（Ｂ）	27,929	1,311	1,011	290	21.73 円
増減額（Ｂ－Ａ）	4,782	1,095	688	104	－
増 減 率	20.7％	506.9％	213.0％	55.9％	－

（２）差異の理由

売上高は、既存製品がエントリーモデルを中心に順調に推移したことに加え、前期下期より発売を開始した新製品の本格販売及び今期発売の新製品 500 シリーズが順次発売となったこと等により、SG、IP、TA 各市場向けとも増加し、また国内、海外向けとも増加する見込みとなりました。その結果、営業利益は、この増収に加え、新製品発売後の量産化進展による製造原価率の改善、支払手数料等の経費節減で増益見込みとなりました。しかしながら、経常利益は、為替差損の計上等により営業利益の増加率を下回る見込みとなりました。また、当期純利益は、インドの販売子会社に対する投資損失等を特別損失に計上したこと等により、経常利益に比べ増加率は低下する見込みとなりました。

※当社は、平成24年４月１日付で株式１株につき200株に株式分割を行っております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上